

安全対策／駅

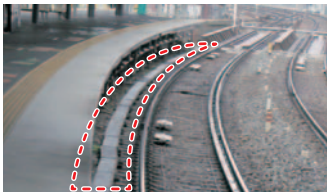
ホーム異常通報装置
(転落検知装置)

お客さまがホームから軌道上に転落された時などに、列車を停止させるための通報装置です。ホーム上に設置された非常通報ボタンを押すと、乗務員および駅係員に特殊信号発光機や警報ランプ、警報サイレンで異常を知らせて事故を未然に防止します。京阪線35駅、大津線26駅に設置しています。



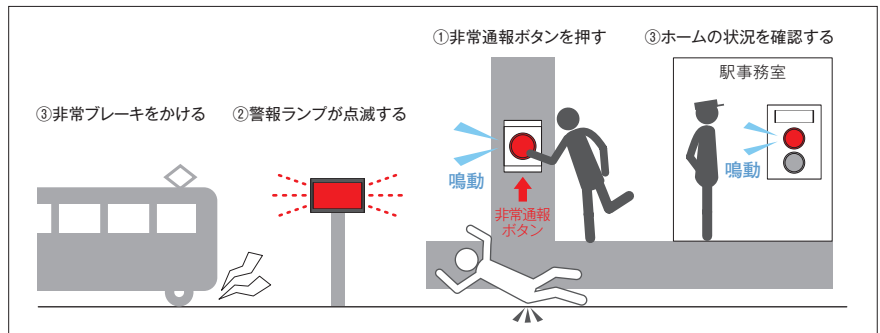
ホーム異常通報装置

また、駅ホームが急な曲線で電車とホームのすきまが広い場所では、お客さまが軌道上に転落されても同様に異常を知らせるための検知マットを、京阪線4駅、大津線1駅に敷設しています。



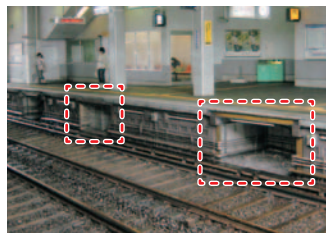
ホーム転落検知装置

ホーム異常通報装置の仕組み



ホーム下待避口

ホーム下に待避する空間のない駅では、お客さまが誤って転落したときにホーム下に待避できる待避スペースや、ホーム上にかかるためのステップを設置しています。



ホーム下待避スペース

津線7駅に設置しています。※行先表示器に組み込まれている場合も設置駅として含めています



列車接近表示器

とじめ
戸閉合図装置

駅係員から車掌に列車の扉を閉める時機を知らせる装置で、京阪線13駅に設置しています。ラッシュ時やイベント開催の多客時などに使用され、扉開閉時の事故防止に役立っています。



戸閉合図装置

列車接近表示器

耳の不自由なお客さまに列車の接近・通過をお知らせする装置で、文字が点滅して注意を喚起します。京阪線47駅、大

可能性があります。

侵入を早期に検知し、接近する電車に知らせ、事故を未然に防止する装置です。そのほか同装置以外に、LED表示板および矢印灯で夜間、自動車のドライバーに注意を促して誤侵入防止に努めています。

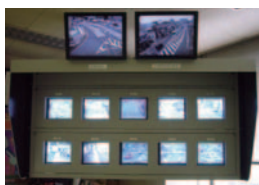


三井寺併専境界

安全対策／併用軌道

併用軌道監視装置

京津線の「浜大津駅～上栄町駅間約800m」および石山坂本線の「浜大津駅～三井寺駅間約500m」の区間は併用軌道(道路上に敷設された軌道)のため、日々変化する道路区間での運転について、適切な道路情報を発信するため24時間体制で監視業務を行ない、より安定的な列車運転ダイヤの確保に努めています。



併用軌道監視装置

自動車侵入検知装置

石山坂本線の三井寺の併用軌道(道路上に敷設された軌道)と専用軌道(専用の敷地内に敷設された軌道)の境界付近は、道路構造上、夜間等に自動車が入り込む